

## 「日本経済再生に向けた緊急経済対策」進捗管理シート(外務省)

対策の柱立て(大区分)	Ⅱ. 成長による富の創出	担当部局	アジア大洋州局 北米局
対策の柱立て(中区分)	3. 日本企業の海外展開支援等		
対策の柱立て(小区分①)		担当課	亜洋局アジア青少年交流室 北米局北米第一課
対策の柱立て(小区分②)	②クール・ジャパンの推進、訪日外国人旅行者の増大に向けた取組等		
対策における施策の名称	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS)の拡充によるアジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流		
(事業名)	JENESYS2.0及び北米地域との青少年交流	新規/既存	■新規 □既存
平成24年度補正予算額	150億円	一般会計/特別会計 (特会の場合には名称も記載)	一般会計
事業の内容 (予算については、 予算の使途及び 予算を交付等する対象者 を明記)	本件事業は、日本経済の再生に向けて、我が国に対する潜在的な関心を増進させ、訪日外国人の増加を図るとともに、クールジャパンを含めた我が国の強みや魅力等の日本ブランド、日本的な「価値」への国際理解を増進させることを目指し、ASEAN、中国、韓国、南アジア諸国、大洋州等のアジア大洋州地域及び北米地域の41の国・地域との間で約3.5万人の青少年(中学生・高校生・大学生等)を招聘・派遣。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 貸付金 <input checked="" type="checkbox"/> その他(拠出金)		
アウトプット指標(進捗指標)	(アウトプット指標による目標) ・平成24年度3月末までに拠出先への拠出を実施。 ・平成25年度4月末までに、各国際機関等の拠出先が、実施団体の決定・契約。		
アウトカム指標(効果指標)	(アウトカム指標による目標) ・本件実施済み事業費の国内消費割合(約8割) ・日本を再度訪問したい、又は知人に訪日を推奨したいとする参加者の割合(訪日者数の9割) ・日本の商品・サービス等に関心が高まった参加者の割合(訪日者数の9割)		
事業の進捗状況 予算の執行状況 (進捗実績、 今後のスケジュール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月末までに、ASEAN事務局、日中友好会館、南太平洋大学、カナダ・アジア太平洋財団等の全ての拠出先に拠出済み。</li> <li>・3月にASEAN、大洋州、中国、韓国からの青少年招へいプログラムを開始済み。</li> <li>・5月中に実施団体につき決定・契約済。</li> <li>・対象国との青少年交流プログラムを速やかに実施中。</li> </ul>		
執行早期化のために 講じている工夫	関係国政府や拠出先機関と拠出前から執行ぶりにつき協議をして可及的速やかな実施を行えるよう準備に全力を挙げている。		
事業に関するURL (事業実施場所、補助先等)	<a href="http://www.mofa.go.jp/mofai/gaiko/seisyounen.html">http://www.mofa.go.jp/mofai/gaiko/seisyounen.html</a>		

## 事業の実施形態

